

TT-N503

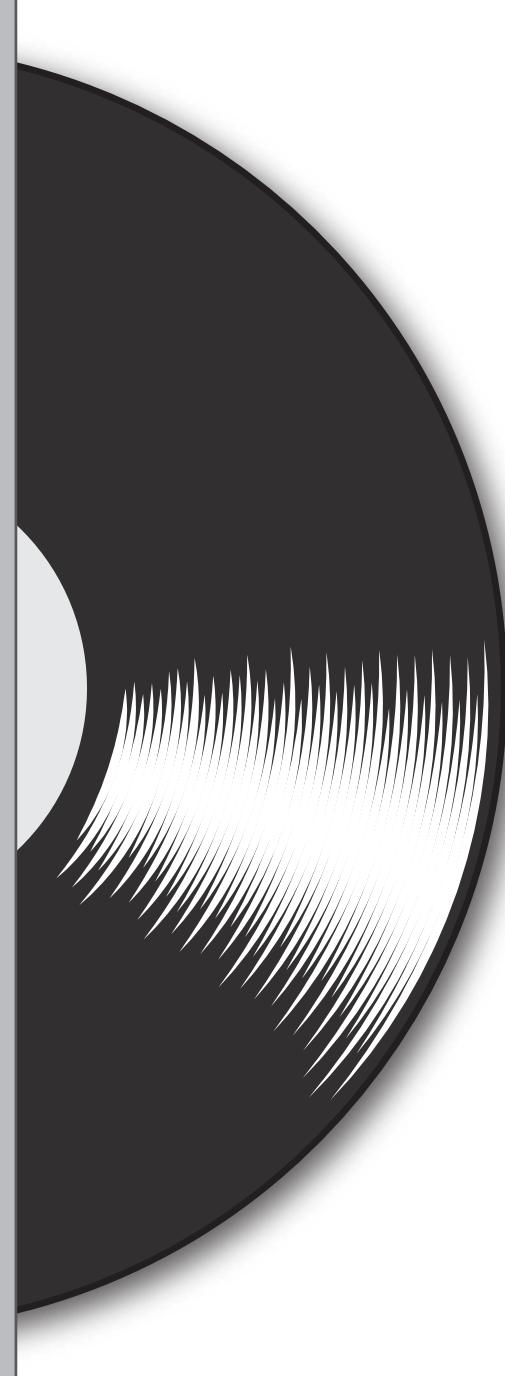
ネットワーク ターンテーブル

MusicCast VINYL 500

取扱説明書

保証書別添付

 YAMAHA



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機は、ご家庭で音声を楽しむための製品です。
- 本説明書では、本機をお使いになる方のための設置や操作方法を説明しています。
- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

記号表示について

この機器や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

- ・点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- ・不適切な使用や改造によりお客さまがけがをしたり機器が故障したりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- ・本製品は一般家庭向けの製品です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源 / AC アダプター



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ・ストーブなどの熱器具に近づけない
 - ・無理に曲げたり、加工しない
 - ・傷つけない
 - ・重いものをのせない
- 芯線がむき出しのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



禁止

落雷のおそれがあるときは、電源プラグやコードに触らない。

感電の原因になります。



電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



ACアダプターは、必ず付属のものを使用する。

火災、やけど、または故障の原因になります。

必ず実行



電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

火災または感電の原因になります。

必ず実行



電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



雷が鳴り出したら、早めに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

火災や故障の原因になります。

必ず実行



長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

必ず実行

分解禁止



この機器を分解したり改造したりしない。火災、感電、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

ワイヤレス機器



医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。

この機器が発する電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15cm以内で使用しない。

この機器が発する電波により、ペースメーカーや除細動器の動作に影響を与えるおそれがあります。

異常に気づいたら



下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。



- 電源コード/プラグが傷んだ場合
- 機器から異常においや煙が出た場合
- 機器の内部に異物が入った場合
- 機器に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



この機器やACアダプターを落としたり、強い衝撃を与えたりしないように注意する。落とすなどして破損したおそれのある場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止



禁止

- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかることで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。また、ぬれた手でこの機器を扱わない。

感電や故障の原因になります。



禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。



禁止



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

電源 / AC アダプター



ACアダプターを、布や布団で包まない。
熱がこもってケースが変形し、火災の原因になることがあります。

禁止



電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しない。
火災、感電、やけどの原因になります。

禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になります。

必ず実行



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。

設置



不安定な場所や振動する場所に置かない。
この機器が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。

禁止



天面以外を上にして設置しない。
故障や転倒してけがの原因となることがあります。

禁止



塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しない。
故障の原因になります。

禁止



地震など災害が発生した場合はこの機器に近づかない。
この機器が転倒または落下して、けがの原因になります。

禁止



この機器を移動する前に、必ず電源スイッチを切り、接続ケーブルをすべて外す。
ケーブルを傷めたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行

聴覚障害



ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。
聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



オーディオシステムの電源を入れるときは、アンプやレシーバーをいつも最後に入れる。
電源を切るときは、アンプやレシーバーを最初に切る。
聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

必ず実行

お手入れ



お手入れをする前に、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電の原因になることがあります。

必ず実行



小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

禁止



以下のことをしない。

- この機器の上に乗る。
- この機器の上に重いものを載せる。
- この機器を重ねて置く。
- ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加える。
- この機器に寄りかかる。

けがをしたり、この機器が破損したりする原因になります。

禁止



接続されたケーブルを引っ張らない。
接続されたケーブルを引っ張ると、機器が転倒して破損したり、けがをしたりする原因になります。

禁止

注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。

■ 電源 / AC アダプター

- ・この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を切った状態(電源がスタンバイの状態)でも微電流が流れています。

■ 設置

- ・テレビやラジオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・直射日光のある場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・無線機能を使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避けてください。
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

■ 接続

- ・外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因となります。

■ 取り扱い

- ・この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色 / 変質する原因になります。
- ・機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなつてから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。

■ お手入れ

- ・極端に温湿度が変化すると、この機器表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。
- ・手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナーなどの薬剤、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色 / 変質する原因になります。

お知らせ

■ 製品に搭載されている機能とデータに関するお知らせ

- ・この製品は、日本国内専用です。
- ・この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- ・本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

■ 本製品の銘板に関するお知らせ

機種名（品番）、製造番号（シリアルナンバー）、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

無線機能に関するお知らせ

(Bluetooth)



- 「2.4」.....2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」.....変調方式は周波数ホッピング（FH-SS 方式）
「1」.....想定干渉距離が 10 m 以内
.....全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(Wi-Fi)



- 「2.4」.....2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「DS/OF」.....変調方式は DS-SS および OFDM 方式
「4」.....想定干渉距離が 40 m 以内
.....全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

5GHz 帯周波数範囲と対応チャネル

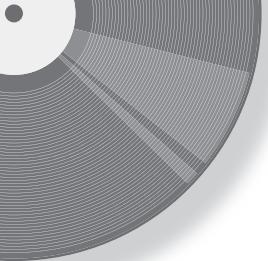
5.2GHz 帯 (W52): 5180 ~ 5240MHz (36ch, 40ch, 44ch, 48ch)

5.3GHz 帯 (W53): 5260 ~ 5320MHz (52ch, 56ch, 60ch, 64ch)

5.6GHz 帯 (W56): 5500 ~ 5700MHz (100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch)

5.2GHz 帯 (W52) と 5.3GHz 帯 (W53) は、電波法により屋内での使用に限られています。

本機は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を搭載しています。



目 次

ご使用になる前に 10

本機でできること	10
本説明書について	11
レコードの取り扱い	11
付属品を確認する	11
各部の名称と機能	12
上面	12
背面	14

準備 15

設置する	15
組み立てる	15
本体の組み立て	15
ダストカバーの取り付け	17
接続する	18
アンプに接続する	18
ネットワークケーブルを接続する	19
調整する	20
針圧の調整	20
アンチスケーティングの調整	22
電源をオンにする	22
本機のスタンバイについて	22
ネットワークに接続する	23

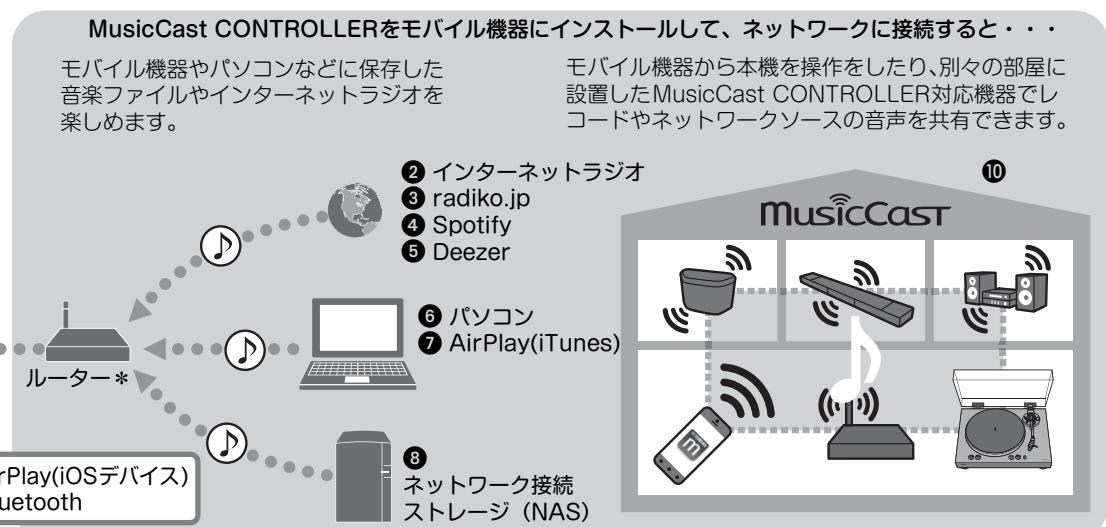
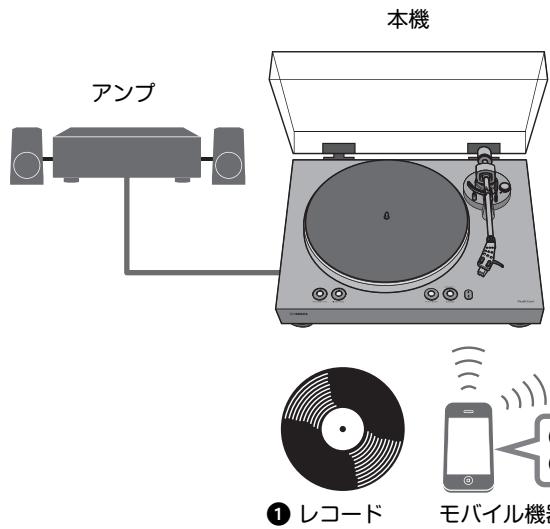
再生	25
レコードを聴く.....	25
インターネットラジオを聴く	28
radiko.jpでラジオを聴く	28
Spotifyで音楽を聴く	29
Deezerで音楽を聴く	29
パソコン（サーバー）の曲を再生する	30
メディアの共有設定を行う	30
音楽ファイルを再生する	30
AirPlayで音楽を聴く	31
MusicCast CONTROLLERを使って お気に入りに登録する	31
Bluetoothで音楽を聴く	32
詳細機能の設定	33
MusicCast CONTROLLERで設定する.....	33
スリープタイマーを設定する.....	33
自動再生の有効/無効を設定する	33
自動スタンバイ機能の有効/無効を設定する	33
ウェブブラウザーで設定する	34
設定画面を表示する	34

必要なとき	35
ファームウェアを更新する	35
設定を初期化する.....	36
WAC機能を使用して 無線ネットワークに接続する.....	36
お手入れする	37
交換する	37
ベルトの交換	37
レコード針の交換	38
本機を移動する	38
故障かな？と思ったら.....	39
全般	39
Bluetooth	41
ネットワーク	42
対応している機器とフォーマット	44
対応機器	44
ファイルフォーマット	44
商標	45
主な仕様	46

ご使用になる前に

本機でできること

本機は、レコード再生のほか、メディアサーバーやモバイル機器などのネットワークソースの再生に対応したネットワークターンテーブルです。



- ① レコードの再生(⇒ 25ページ)
- ② インターネットラジオの再生(⇒ 28ページ)
- ③ radiko.jpの再生(⇒ 28ページ)
- ④ Spotifyの再生(⇒ 29ページ)
- ⑤ Deezerの再生(⇒ 29ページ)

- ⑥ パソコン内の音楽ファイルの再生(⇒ 30ページ)
- ⑦ AirPlayの再生(⇒ 31ページ)
- ⑧ ネットワーク接続ストレージ(NAS)内の音楽ファイルの再生(⇒ 30ページ)
- ⑨ Bluetooth機器の再生(⇒ 32ページ)
- ⑩ MusicCast CONTROLLERを使用して再生(⇒ 23ページ)

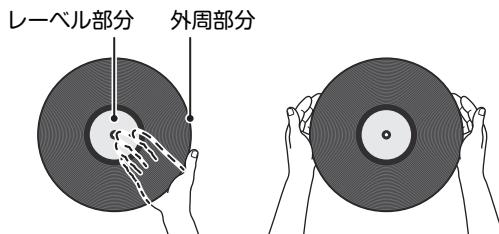
本説明書について

本説明書をお読みになるときは、以下にご注意ください。

- ◆ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ◆ 本説明書では、iPhone、iPad、iPod touchを総称して「iOSデバイス」と表記します。
- ◆ 本文で使用されているマーク
 - 「**⚠ 警告**」は、死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 - 「**⚠ 注意**」は、傷害を負う可能性が想定される内容です。
 - **ご注意** は、製品の故障、損傷や誤動作を防ぐため、お守りいただく内容です。
 - **お知らせ** は、知つておくと便利な補足情報です。

レコードの取り扱い

レコードを持つときは、レコードのレーベル部分と外周部分を支えるようにはつか、レコードの外周部分を両手ではさむようにしてください。



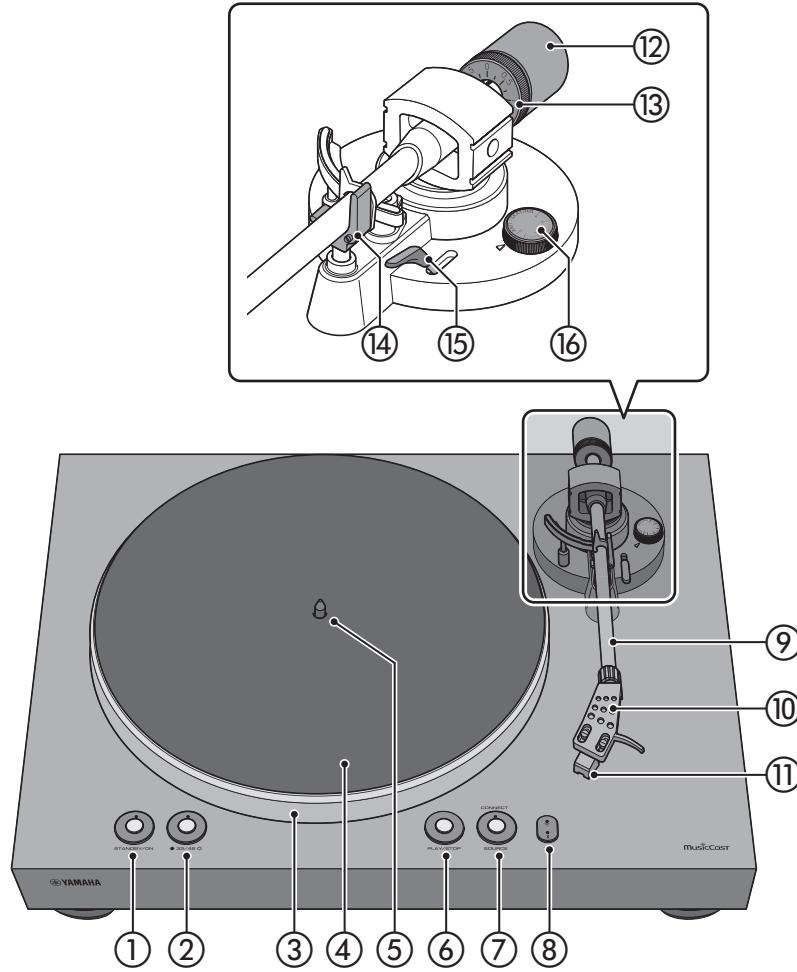
付属品を確認する

すべて揃っていることをご確認ください。

<input type="checkbox"/> ターンテーブル ×1	<input type="checkbox"/> ターンテーブルシート ×1	<input type="checkbox"/> ベルト×1 *ベルトはターンテーブルに取り付けられています。
<input type="checkbox"/> カウンターウェイト ×1	<input type="checkbox"/> ヘッドシェル×1 (カートリッジ付き)	<input type="checkbox"/> EPアダプター×1
<input type="checkbox"/> ダストカバー×1	<input type="checkbox"/> ヒンジ×2	<input type="checkbox"/> ステレオピンケーブル ×1
<input type="checkbox"/> ACアダプター ×1 *詳しくは、同梱の「補足情報」(リーフレット)をご覧ください。	<input type="checkbox"/> 取扱説明書(本書)	<input type="checkbox"/> 補足情報(リーフレット)

各部の名称と機能

上面



① STANDBY/ON (スタンバイ/オン) (電源)

本機の電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り替えます。(⇒ 22ページ)

STANDBY/ON (電源) インジケーター

本機の電源状態を示します。

点灯: 電源がオンの状態

暗い点灯: 電源がネットワークスタンバイの状態(⇒ 22ページ)

消灯: 電源がエコスタンバイの場合(⇒ 22ページ)

② 33/45 (回転数切り替え) (⇒ 26ページ)

回転数インジケーター (⇒ 26ページ)

③ ターンテーブル (⇒ 15ページ)

④ ターンテーブルシート (⇒ 16ページ)

⑤ センタースピンドル (⇒ 15ページ)

⑥ PLAY/STOP (再生/停止) (⇒ 26ページ)

ターンテーブルが回転/停止します。

お知らせ

- ◆ ソース(音源)がネットワークまたはBluetoothのときは、ネットワークソースの再生/停止ができます。

⑦ SOURCE (ソース)

本機のソース(音源)を選択します。押すたびにソースがPHONO、ネットワーク、Bluetoothと切り替わります。

お知らせ

- ◆ 本機背面の音声出力切替スイッチの設定がLINE OUTのときにソースを切り替えることができます。

SOURCEインジケーター

ソースによってインジケーターの色が変わります。

ソース	インジケーターの色
PHONO	白
ネットワーク(AirPlay)	ピンク
ネットワーク(AirPlay以外)	緑
Bluetooth	青

お知らせ

- ◆ 新しいファームウェアが提供されるとインジケーターがオレンジ色に点滅します。(⇒ 35ページ)

CONNECT (コネクト)

MusicCast CONTROLLERを使ってネットワークの接続設定をするときに使用します。(⇒ 23ページ)

⑧ (無線LAN) インジケーター

本機が無線接続すると点灯します。(⇒ 23ページ)

(Bluetooth (ブルートゥース)) インジケーター

本機がBluetooth機器に接続すると点灯します。(⇒ 32ページ)

⑨ トーンアーム (⇒ 16ページ)

⑩ ヘッドシェル (⇒ 16ページ)

⑪ カートリッジ

⑫ カウンターウェイト (⇒ 21ページ)

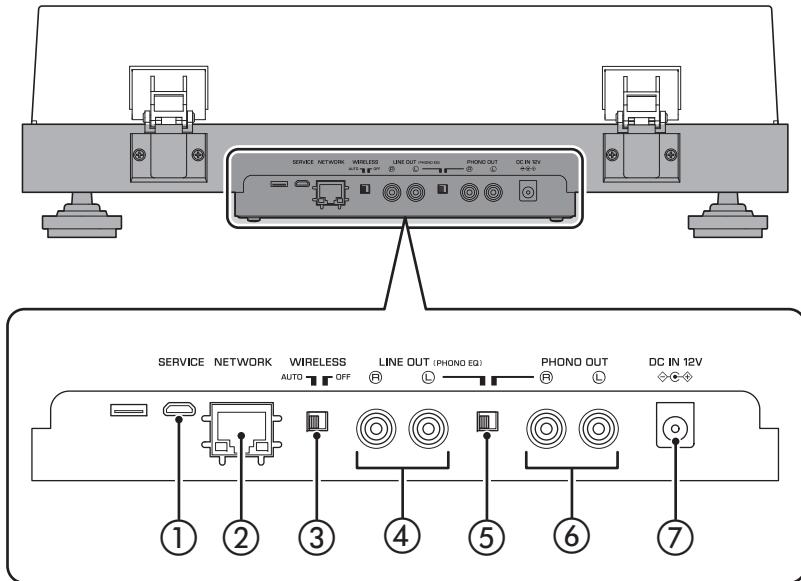
⑬ カウンターリング (⇒ 21ページ)

⑭ アームレスト (⇒ 20ページ)

⑮ リフトレバー (⇒ 26ページ)

⑯ アンチスケーティング (⇒ 22ページ)

背面



① SERVICE (サービス) 端子

サービス専用の端子です。通常は使用しません。

② NETWORK (ネットワーク) 端子

LANケーブル(市販)を使って、ネットワークへ接続します。

③ WIRELESS (ワイヤレス) スイッチ

本機の無線機能(Bluetooth機能含む)の有効/無効を切り替えます。

AUTO(初期値): 無線機能を有効にします。

OFF: 無線機能を無効にします。

④ LINE OUT (ラインアウト) 端子

レコードの再生音とネットワークソースの再生音を出力します。

(⇒ 18ページ)

⑤ 音声出力切替スイッチ

音声出力を切り替えます。(⇒ 18ページ)

LINE OUT(初期値): カートリッジの信号を本機に内蔵したフォノイコライザーで増幅し、LINE OUT端子から出力します。

PHONO OUT: カートリッジの信号を直接PHONO OUT端子から出力します。

⑥ PHONO OUT (フォノアウト) 端子

レコードの再生音を出力します。(⇒ 19ページ)

⑦ DC IN (DCイン) 端子

ACアダプター(付属)を接続します。(⇒ 18ページ)

準備

設置する

レコード再生は振動の影響を受けやすいため、外部振動を受けない、水平な場所に設置してください。

また、スピーカーシステムから音圧や振動の影響を受けない位置まで離して設置してください。

組み立てる

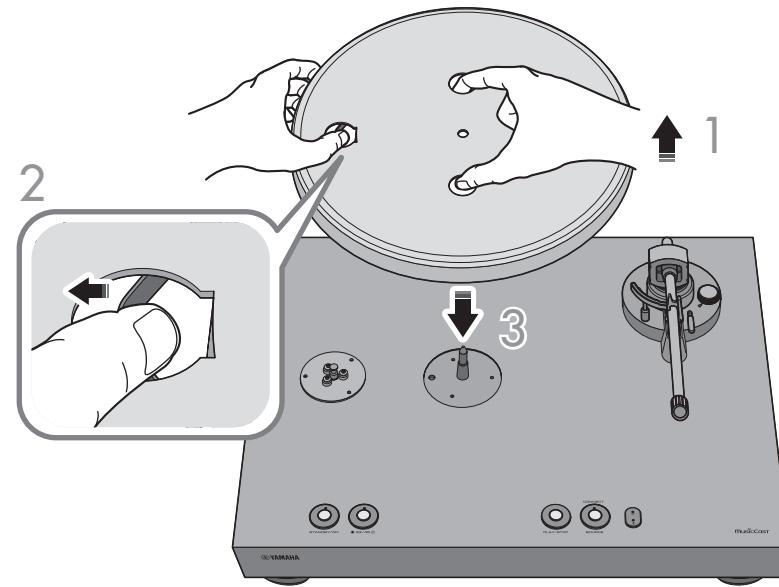
本体の組み立て

- 1 ターンテーブルを持ち上げる。
- 2 ターンテーブルの丸穴からベルトを引き出し、指にかける。
- 3 ターンテーブルをセンタースピンドルに差し込む。



注意

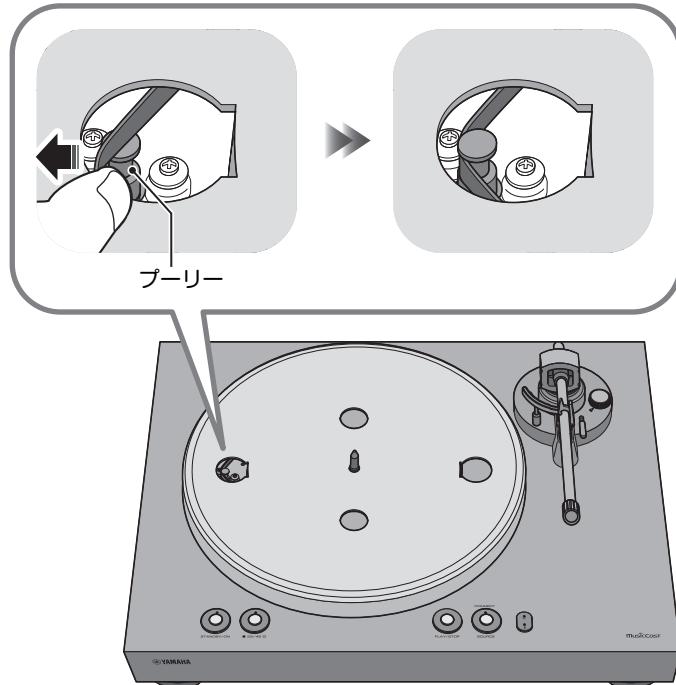
- ◆ ターンテーブルを落とさないようにしてください。落とすと、けがをしたり、本機の損傷の原因になります。



4 ターンテーブルの丸穴をプーリーの上に合わせる。

5 ベルトを指でプーリーにかける。

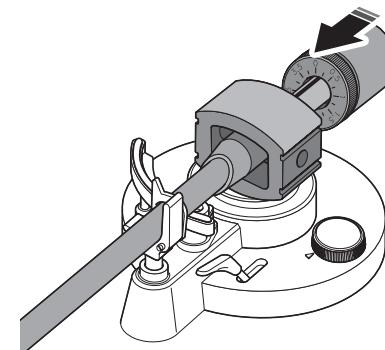
ベルトがねじれないように注意してください。ベルトをかけた後、数回ターンテーブルを回して、ベルトをなじませてください。



6 ターンテーブルシートをターンテーブルにのせる。

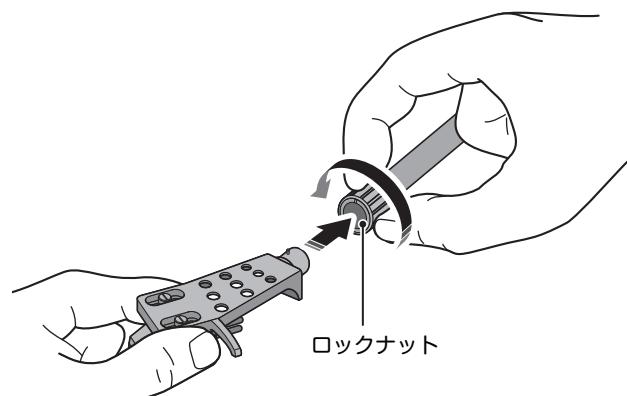
7 カウンターウェイトをトーンアームに取り付ける。

カウンターウェイトの目盛がある側を手前にし、トーンアームの後部に差し込みます。



8 ヘッドシェルをトーンアームに取り付ける。

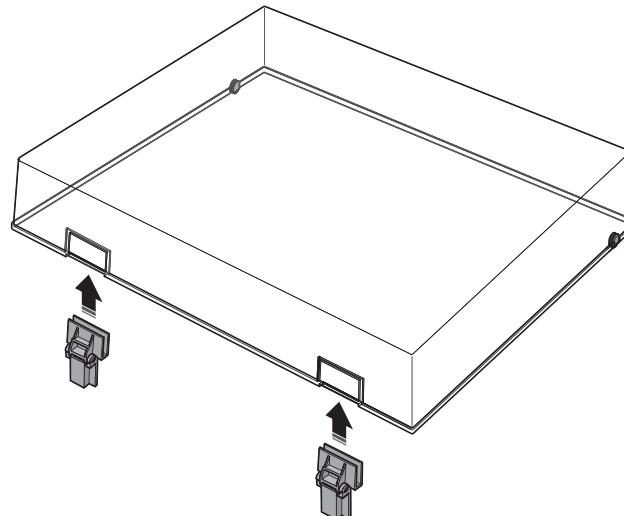
ヘッドシェルをトーンアームの先端に差し込み、ロックナットを回して固定してください。



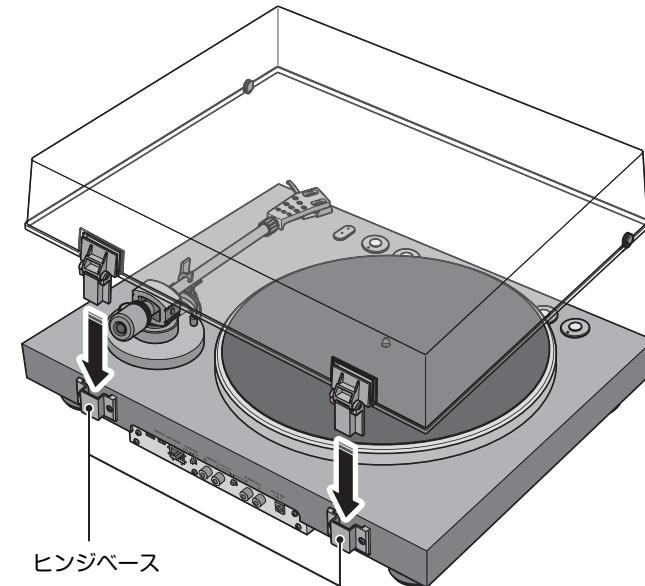
ダストカバーの取り付け

ダストカバーは、本機をほこりなどから守るために使用します。

- 1 ダストカバー両端にあるヒンジ差し込み部にヒンジを差し込む。



- 2 本機背面にあるヒンジベースにヒンジを差し込み、ダストカバーを取り付ける。



お知らせ

- ◆ ダストカバーを取り外すときは、ダストカバーの両端を持って、ゆっくり上へ引き上げ、ヒンジごと本体から外します。

注意

- ◆ ダストカバーを開け閉めするときは、手や指を挟まないように注意してください。

接続する

アンプに接続する

下図のように接続してください。

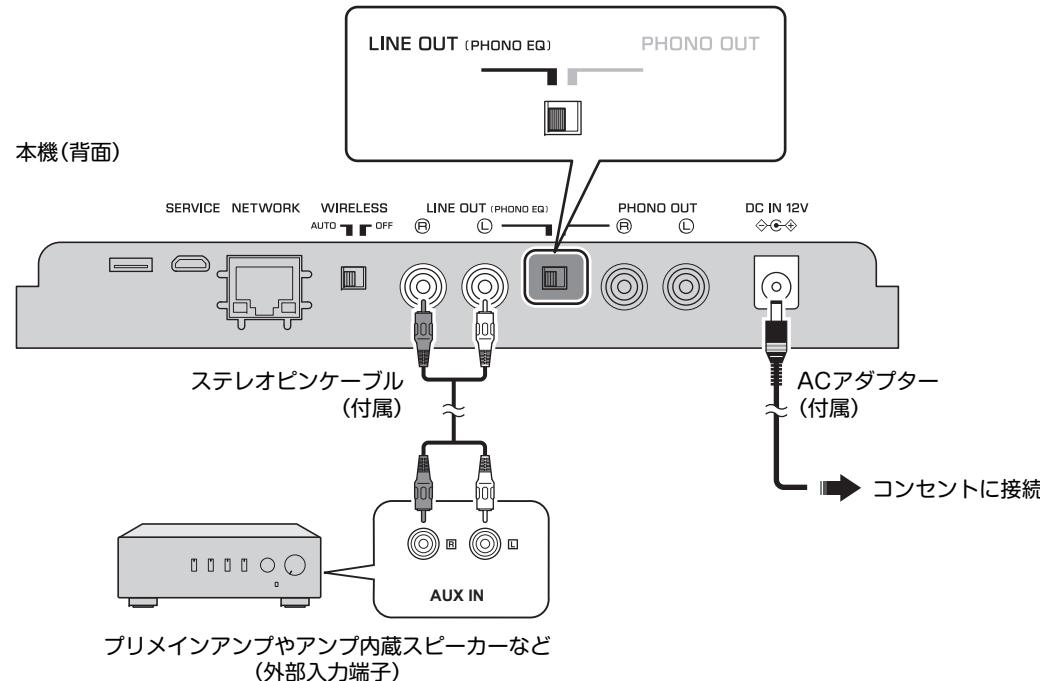
■ 本機のLINE OUT端子を使用する場合

再生可能なソース：レコード、インターネットラジオなどすべてのネットワークソース、Bluetooth



注意

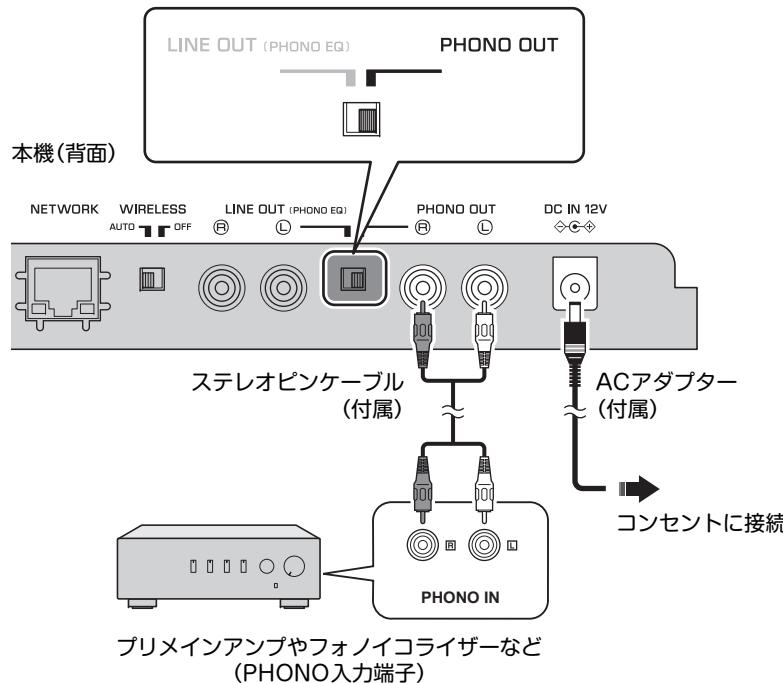
- ◆ すべての接続、音声出力切替スイッチの設定が終了するまで、本機や本機に接続した機器の電源プラグをコンセントに差し込まないでください。



■ 本機のPHONO OUT端子を使用する場合

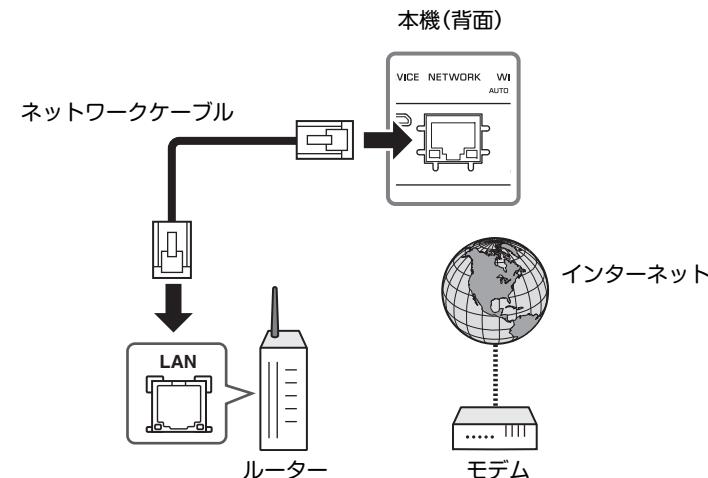
再生可能なソース：レコード

本機のネットワーク機能は利用できません。



ネットワークケーブルを接続する

有線でネットワークに接続するには、市販のSTPネットワークケーブル(CAT-5以上のストレートケーブル)を使って、本機をルーターに接続してください。無線でネットワーク接続する場合は、「ネットワークに接続する」(⇒ 23ページ)へ進んでください。



お知らせ

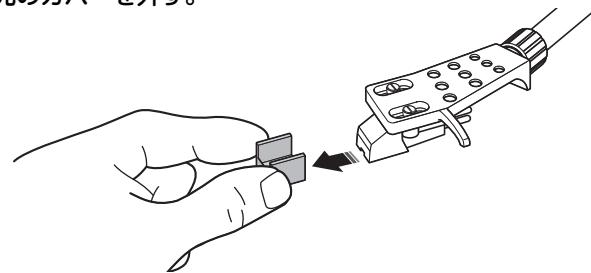
- ◆ ネットワークケーブルを接続してから本機の電源をオンにしてください。
- ◆ 本機背面のWIRELESSスイッチがAUTOまたはOFFのどちらの場合でも、有線でネットワークに接続できます。(⇒ 14ページ)
- ◆ すでに無線でネットワークに接続している場合、本機の電源をスタンバイにしてネットワークケーブルを接続し、本機背面のWIRELESSスイッチをOFFにしてから電源をオンにしてください。(⇒ 14ページ)

調整する

針圧の調整

レコードに適正な針圧がかかるようにトーンアームを調整します。

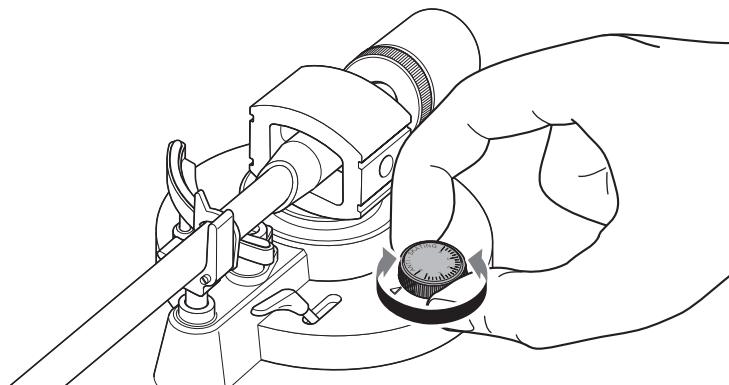
1 針先のカバーを外す。



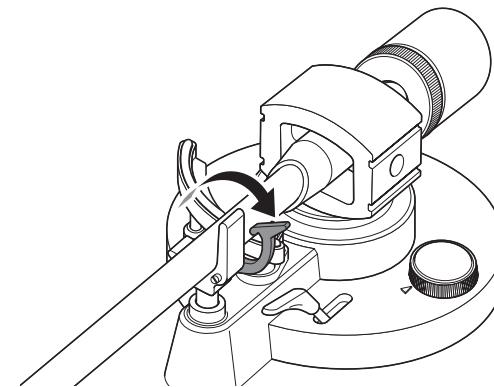
ご注意

- ◆ 針先のカバー や指が針に触れないように注意してください。

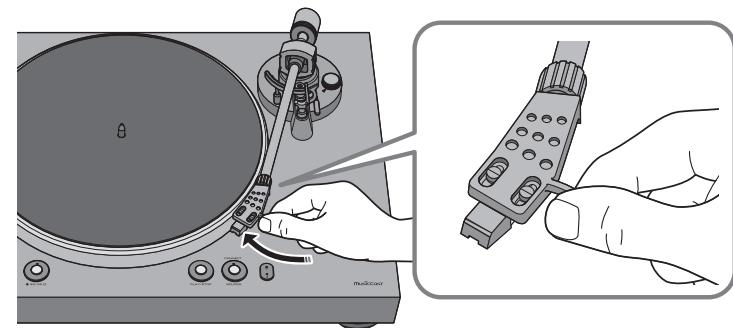
2 アンチスケーティングの目盛を「0」にあわせる。



3 トーンアームのロックを外す。



4 トーンアームをアームレストから降ろし、少し左にずらす。

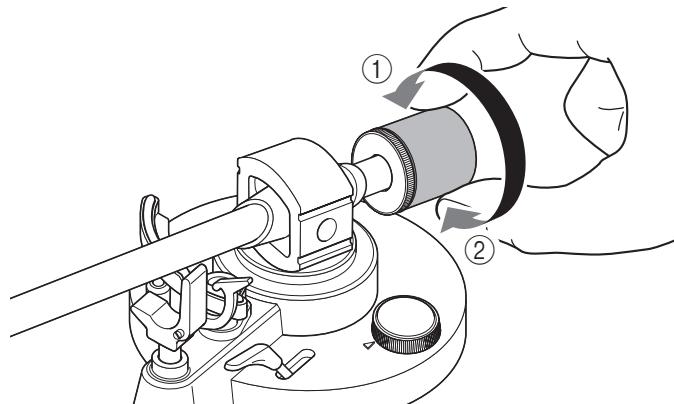


ご注意

- ◆ 針が本機に当たらないように注意してください。

5 カウンターウェイトを回して、トーンアームが水平になるように調整する。

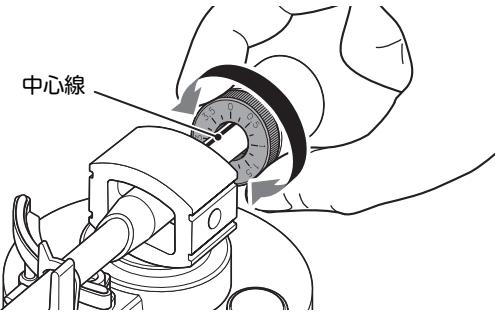
- ①の方向: カウンターウェイトはトーンアーム前方に動く
- ②の方向: カウンターウェイトはトーンアーム後方に動く



- トーンアームが水平
(バランスがとれた状態)
- ✗ カウンターウェイトが前方すぎる
- ✗ カウンターウェイトが後方すぎる

6 トーンアームをアームレストに戻し、ロックする。

7 カウンターリングを回して、目盛の「0」をトーンアーム後部の中心線に合わせる。

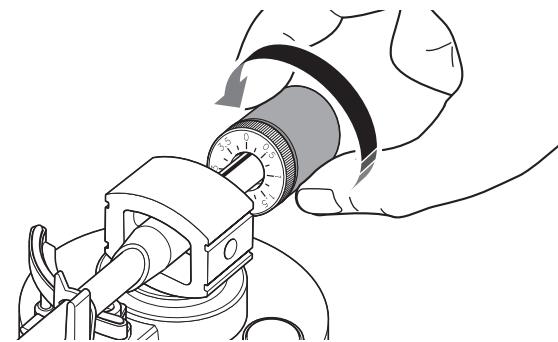


お知らせ

- ◆ カウンターリングを回す際、カウンターウェイトが回らないように指で押させてください。

8 カウンターウェイトを回して、カウンターリングの目盛をカートリッジ指定の針圧に合わせる。

付属のカートリッジの指定針圧は3.5gです。



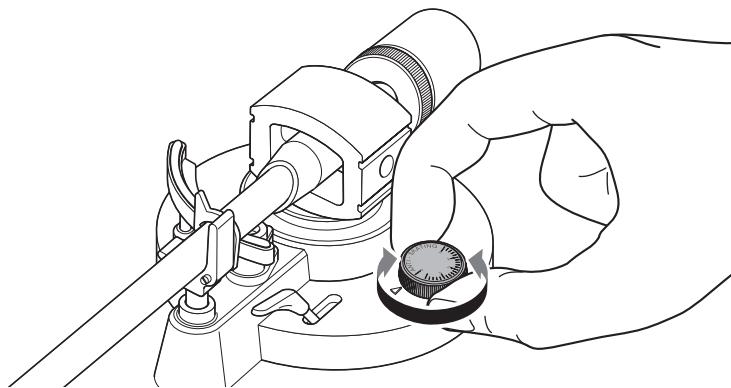
お知らせ

- ◆ カウンターウェイトを回すとカウンターリングも回ります。

アンチスケーティングの調整

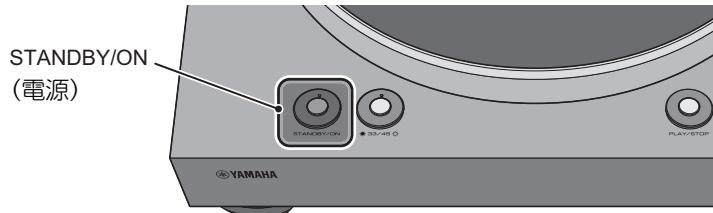
ターンテーブルが回転すると、針先には回転の中心へ引き寄せられる力が発生します。アンチスケーティングの値を針圧と同じにすることで、針先に回転の外側へ引っ張る力が発生し、それぞれの力が相殺されます。

- 1 アンチスケーティングを回し、カートリッジの針圧と同じ数値に目盛を合わせます。



電源をオンにする

本機上面のSTANDBY/ON(電源)を押して、電源をオンにします。もう一度STANDBY/ON(電源)を押すと電源はスタンバイになります。



お知らせ

- ◆ 本機を購入または初期化した直後に電源をオンにすると、 (無線LAN) インジケーターが点滅する場合があります。点滅した場合は、iOSデバイスのネットワーク設定を共有して無線ネットワークに接続できます。(⇒ 36ページ)
さまざまなネットワークソースの再生を楽しむためには、MusicCast CONTROLLERを使用してネットワークに接続してください。(⇒ 23ページ)

本機のスタンバイについて

本機のスタンバイには以下の2種類があります。

ネットワークスタンバイ: ネットワーク機器から本機の電源をオンにできます。(音声出力切替スイッチの設定がLINE OUTのときのみ)

エコスタンバイ: 待機時消費電力を抑えることができます。

お知らせ

- ◆ エコスタンバイ設定に変更したい場合は、ウェブブラウザのStandby設定で変更できます。(⇒ 34ページ)
- ◆ 一時的にエコスタンバイへ切り替えたいときは、本機の電源がオンの状態でSTANDBY/ON(電源)を5秒間押してください。(音声出力切替スイッチの設定がLINE OUTのときのみ)

ネットワークに接続する

本機をMusicCastに登録し、同時に本機のネットワークの接続設定を行います。

有線でネットワークに接続している場合も、ネットワークソースを再生するには、MusicCastへの登録が必要です。

お知らせ

- ◆ ネットワーク経由でハイレゾ音源を再生する場合は、安定した再生を行えるよう有線でネットワークに接続することをおすすめします。(⇒ 19ページ)
- ◆ お手持ちのモバイル機器が、あらかじめ無線LANルーター(アクセスポイント)に接続されている必要があります。

1 モバイル機器にMusicCast CONTROLLERをインストールする。

App Store または Google Play で MusicCast CONTROLLER(無料)を検索し、お手持ちのモバイル機器にインストールしてください。

MusicCast CONTROLLERについて詳しくは、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.yamaha.com/musicast/>



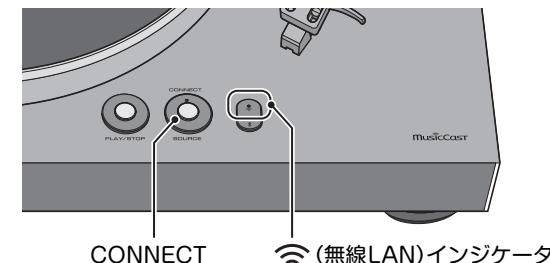
MusicCast CONTROLLERは、MusicCast対応機器を操作するアプリです。別々の部屋に設置した複数のMusicCast対応機器で音楽を共有することができます。スマートフォンなどのモバイル機器をリモコンとして、MusicCast 対応機器の選曲や設定が簡単にできます。

2 モバイル機器でMusicCast CONTROLLERを起動し、「設定する」をタップする。



3 モバイル機器の画面に表示される案内にしたがってMusicCast CONTROLLERを操作し、本機上面のCONNECTを5秒間押す。

（無線LAN）インジケーターが点滅します。



4 モバイル機器の画面に表示される案内にしたがってMusicCast CONTROLLERを操作し、ネットワークを設定する。

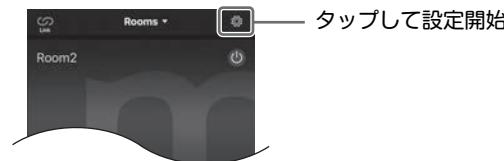
本機がネットワークに接続すると、 (無線LAN) インジケーターが点灯します。

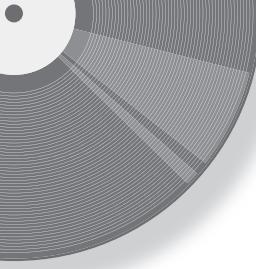
これでMusicCastへの登録とネットワーク設定は完了です。

MusicCast CONTROLLERを操作して、音楽を再生してください。

お知らせ

- ◆ 2台目以降のMusicCast対応機器を設定する場合は、MusicCast CONTROLLERの右上に表示される (設定) をタップし、「新しい機器を登録する」を選んでください。





再生

レコードを聴く

レコードを再生します。

■ 再生を開始する



注意

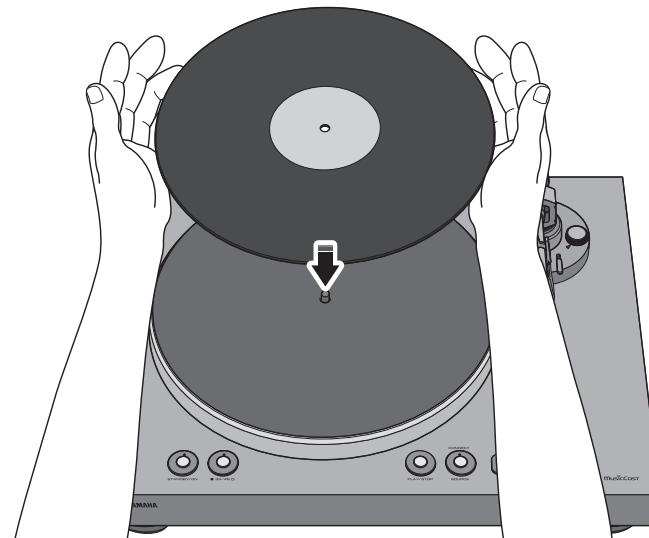
- ◆ アンプの音量を十分下げずにレコードを再生すると、針先がレコードに触れたときに大きな音がする場合があります。聴覚障害、アンプやスピーカーの損傷の原因になりますので、必ずアンプの音量を下げてください。
- ◆ LINE OUT端子から出力してレコードを再生しているときに、ソースを PHONOからネットワークまたはBluetoothに切り替えるとターンテーブルが停止します。

お知らせ

- ◆ MusicCast CONTROLLERでは、レコードの再生/停止、回転数の切り替えは操作できません。

1 ダストカバーを開け、レコードをターンテーブルにのせる。

EP盤の場合は、付属のEPアダプターを使用してください。



2 33/45(回転数切り替え)を押して、レコードにあった回転数を選択する。

33/45(回転数切り替え)を押すたびに回転数が切り替わります。

回転数インジケーター点灯: 33 1/3回転

回転数インジケーター消灯: 45回転

3 SOURCEを押して、ソースをPHONOに切り替える。

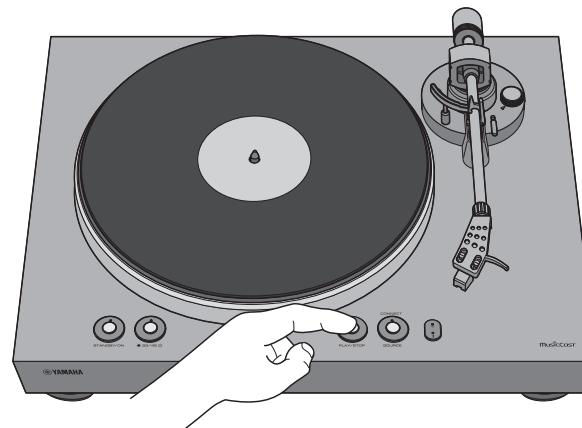
SOURCEインジケーターが白色に点灯します。

お知らせ

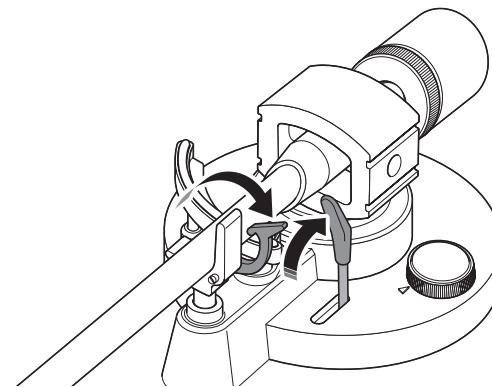
- ◆ 音声出力切替スイッチの設定をPHONO OUTにした場合はソースの切り替えは不要です。

4 PLAY/STOP(再生/停止)を押す。

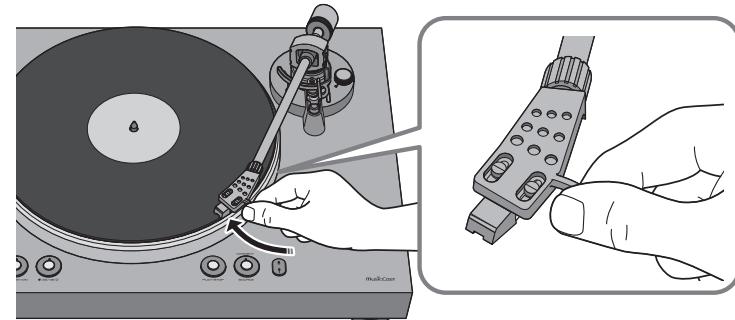
ターンテーブルが回転します。



5 トーンアームのロックを外し、リフトレバーを上げる。

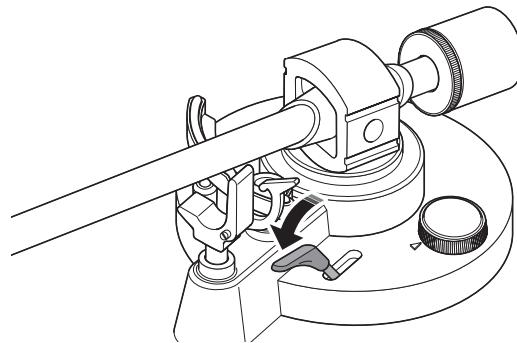


6 トーンアームをレコードの演奏位置まで移動する。



7 リフトレバーを下げる。

トーンアームが下降し、再生が始まります。



■ 再生を中断する

リフトレバーを上げるとトーンアームが上がり再生が中断します。

リフトレバーを下げるとき再生を再開します。

■ 再生を終了する

- 1 リフトレバーを上げる。
- 2 トーンアームをアームレストに戻す。
- 3 リフトレバーを下げる。
- 4 PLAY/STOP(再生/停止)を押す。
ターンテーブルの回転が止まります。
- 5 トーンアームをロックする。

お知らせ

- ◆ レコードの再生が終了してもトーンアームは自動で上がりません。
- ◆ しばらく本機を使用しない場合は、保護のため針先にカバーを取り付けてください。

インターネットラジオを聴く

モバイル機器にインストールしたMusicCast CONTROLLERを使用してインターネットラジオ局を選びます。

お知らせ

- ◆ 選局する前に、本機をMusicCastに登録してください。(⇒ 23ページ)
- ◆ インターネットラジオ局や時間帯によっては、受信できないことがあります。
- ◆ この機能は、airable.Radioのサービスを利用します。
airableはTune In GmbHが提供するサービスです。
- ◆ 本サービスは予告なく変更または終了する場合があります。

1 MusicCast CONTROLLERで本機のルーム(Room1など)を選ぶ。

2 「Net Radio」をタップする。

3 聴きたいインターネットラジオ局を選ぶ。

radiko.jpでラジオを聴く

radiko.jpは、地上波ラジオ放送をCMも含めて同時にインターネットで配信する「IP(Internet Protocol)サイマルラジオ」サービスです。モバイル機器にインストールしたMusicCast CONTROLLERを使用して選局します。

詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://radiko.jp/>

お知らせ

- ◆ 選局する前に、本機をMusicCastに登録してください。(⇒ 23ページ)
- ◆ radiko.jpプレミアム(有料)に登録すると、全国のラジオ局を受信できます。
- ◆ radiko.jpプレミアムを利用するには、radiko.jpのウェブサイトでユーザー登録し、モバイル機器にインストールしたMusicCast CONTROLLERからログイン名とパスワードを入力してください。
- ◆ 本サービスは予告なく変更または終了する場合があります。

1 MusicCast CONTROLLERで本機のルーム(Room1など)を選ぶ。

2 「radiko.jp」をタップする。

3 地域を選んで、ラジオ局を選ぶ。

Spotifyで音楽を聴く

スマホ、タブレット、パソコンをリモコンにして、Spotifyで音楽を楽しめます。
詳しくはspotify.com/connectをご覧ください。

お知らせ

- ◆ 本サービスは予告なく変更または終了する場合があります。

Deezerで音楽を聴く

Deezerは高品質でロスレスかつクリアな音質を楽しめる音楽ストリーミングサービスです。

Deezerサービスを利用するにはDeezerアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、あらかじめDeezerのウェブサイトでアカウントをご登録ください。

詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

www.deezer.com/

お知らせ

- ◆ 選局する前に、本機をMusicCastに登録してください。(⇒ 23ページ)
- ◆ 本サービスは予告なく変更または終了する場合があります。

1 MusicCast CONTROLLERで本機のルーム(Room1など)を選ぶ。

2 「DEEZER」をタップする。

3 Deezerサービスのアカウントにサインインする。

4 MusicCast CONTROLLERでDeezerのコンテンツを選ぶ。

パソコン（サーバー）の曲を再生する

パソコンやDLNA対応のネットワーク接続ストレージ(NAS)に保存されている音楽ファイルを本機で再生します。

お知らせ

- ◆ 無線ネットワーク接続時に音声が途切れる場合は、有線でネットワークに接続してください。(⇒ 19ページ)
- ◆ 本機で再生できるファイルフォーマットについては、「対応している機器とフォーマット」(⇒ 44ページ)をご覧ください。合わせてNAS側の仕様もご確認ください。

メディアの共有設定を行う

パソコン（サーバー）に保存されている音楽ファイルを本機で再生するには、各機器で本機とのメディア共有を有効にする必要があります。

■ Windows Media Playerがインストールされているパソコン

お使いのパソコンやWindows Media Playerのバージョンにより、設定手順が異なる場合があります。ここでは例として、Windows Media Player 12の設定方法を説明します。

お知らせ

- ◆ 操作方法はお使いのパソコンや設定により異なります。詳しくは、パソコンメーカーまたはWindows Media Playerのヘルプをご覧ください。

1 パソコンでWindows Media Player 12を起動する。

2 メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。

3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。

4 機種名の右側にあるドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。

5 「OK」をクリックして設定を終了する。

■ Windows Media Player以外のDLNAサーバーソフトがインストールされているパソコン（サーバー）

各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

音楽ファイルを再生する

モバイル機器にインストールしたMusicCast CONTROLLERを使って再生します。

お知らせ

- ◆ 再生する前に、本機をMusicCast機器として登録してください。(⇒ 23ページ)

1 MusicCast CONTROLLERで本機のルーム(Room1など)を選ぶ。

2 「Server」をタップする。

3 画面の案内に従って、曲を選ぶ。

AirPlayで音楽を聞く

AirPlay機能を使って、iTunesやiOSデバイスの音楽ファイルをネットワーク経由で再生します。

お知らせ

- ◆ iOSデバイスから本機を認識できない場合は、ネットワーク環境(ルーターなど)をご確認ください。

- 1 iTunesを起動する、またはiOSデバイスの音楽再生画面を表示する。
- 2 iTunes/iOSデバイスでAirPlayアイコンをクリック(タップ)し、音声の出力先として本機を選ぶ。



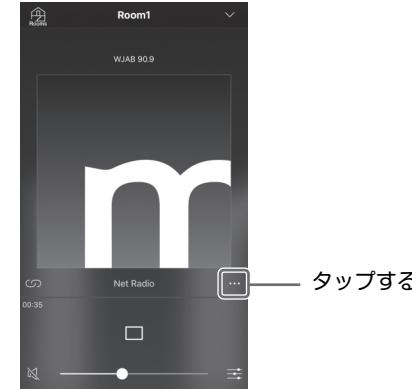
iOSデバイスの場合、AirPlayアイコンはミュージックアプリの再生画面またはコントロールセンターに表示されます。

- 3 iTunes/iOSデバイスを操作して曲を再生する。
本機のソースが自動的にネットワーク(Airplay)に切り替わり、再生が始まります。
SOURCEインジケーターはピンク色に点灯します。

MusicCast CONTROLLERを使ってお気に入りに登録する

最大40種類のコンテンツ(パソコンの曲やインターネットラジオ局など)を登録できます。

- 1 登録したい曲やインターネットラジオ局を再生する。
- 2 再生画面の「...」をタップし、「お気に入りに追加」をタップする。



■ 登録したコンテンツを呼び出す

- 1 MusicCast CONTROLLERで本機のルーム(Room1など)を選ぶ。
- 2 「お気に入り」をタップして、再生したいコンテンツを選ぶ。

Bluetoothで音楽を聴く

Bluetooth機器(スマートフォンなど)に保存した音楽ファイルなどを本機で再生できます。

お知らせ

- ◆ Bluetooth機能を使用するには、本機背面のWIRELESSスイッチをAUTOにしてください。(⇒ 14ページ)
- ◆ 対応しているBluetooth機器については、「対応している機器とフォーマット」(⇒ 44ページ)をご覧ください。

1 本機上面のSOURCEを押し、ソースをBluetoothに切り替える。

SOURCEインジケーターが青色に点灯します。

2 お使いのBluetooth機器を操作して、Bluetooth機能をオンにする。

3 Bluetooth機器側で接続可能なデバイスのリストから本機を選ぶ。

本機がBluetooth機器と接続すると、 (Bluetooth) インジケーターが点灯します。

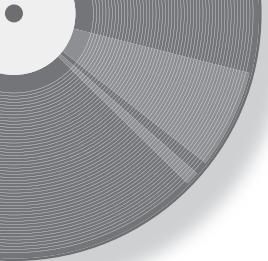
お知らせ

- ◆ パスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。
- ◆ 本機をMusicCast機器として登録した場合は、接続可能なデバイスのリストにルーム名が表示されます。

4 Bluetooth機器を操作して音楽を再生する。

お知らせ

- ◆ 接続済みのBluetooth機器を検出した場合、手順1のあと自動的にそのBluetooth機器に接続します。別のBluetooth機器に接続するには、現在のBluetooth接続を切断してください。
- ◆ Bluetooth機器との接続を切断するには、次のいずれかの操作をします。
 - Bluetooth機器で切断操作をする。
 - 本機のソースをBluetooth以外にする。
- ◆ Bluetoothスタンバイを有効にすると、Bluetooth機器で接続操作が行われたときに、自動的に本機の電源がオンになります。(⇒ 34ページ)



詳細機能の設定

MusicCast CONTROLLERで設定する

MusicCast CONTROLLERでさまざまな機能の設定ができます。

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると本機の電源が自動的にスタンバイになる機能を設定します。

設定値：オフ(初期値)、30分、60分、90分、120分

お知らせ

- ◆ 以下の動作を行った場合、スリープタイマーの設定はキャンセルされます。
 - 本機の電源をスタンバイにする。
 - 本機のコンセントを抜く。
 - ソースをPHONOに切り替える。
- ◆ ソースがPHONOのときは、スリープタイマーは使用できません。

自動再生の有効/無効を設定する

ソースをServerに切り替えたときに、パソコン(サーバー)の曲を自動的に再生させる機能を設定します。

設定値

オン(初期値)：自動再生機能を有効にします。

再生履歴がある場合のみ、最後に再生したコンテンツを再生します。該当コンテンツがない場合は再生しません。

オフ：自動再生機能を無効にします。

自動スタンバイ機能の有効/無効を設定する

本機で一定時間再生または操作しなかったときに、電源が自動的にスタンバイになる機能を設定します。

設定値

オフ(初期値)：自動スタンバイ機能を無効にします。

オン：自動スタンバイ機能を有効にします。

本機で20分間再生しない(ソースがPHONOのときを除く)、または8時間無操作状態が続くと電源が自動的にスタンバイになります。

お知らせ

- ◆ 自動的にスタンバイになる直前、STANDBY/ON(電源)インジケーターが点滅します。

ウェブブラウザーで設定する

パソコンなどのウェブブラウザーを使って、本機の各種設定やネットワーク接続の設定ができます。ここではStandby設定について説明します。

以下の操作は、本機をネットワークに接続してから行ってください。(⇒ 19、23 ページ)

設定画面を表示する

パソコンで設定画面を表示します。

- 1 MusicCast CONTROLLERで本機のIPアドレスを調べる。
- 2 パソコンでウェブブラウザーを起動する。
- 3 ウェブブラウザーのアドレスバーに本機のIPアドレスを入力し、ENTERを押す。
設定画面が表示されます。

お知らせ

- ◆ すべての機器やブラウザーでの動作を保証するものではありません。

■ Standby設定

Network Standby

ネットワーク機器から本機の電源をオンにする機能を設定します。

Auto(初期値): ネットワークスタンバイを有効にします。

ネットワークに接続していないときは、自動的にネットワークスタンバイが無効になります。(本機はエコスタンバイになります)

On: ネットワークスタンバイを有効にします。「Off」に設定したときよりも電力を消費します。

Off: ネットワークスタンバイを無効にします。(本機はエコスタンバイになります)

Bluetooth Standby

Bluetooth機器から本機の電源操作をするか設定します。「On」に設定すると、Bluetooth機器で接続操作が行われたときに、自動的に本機の電源がオンになります。

On(初期値): Bluetoothスタンバイを有効にします。(ネットワークスタンバイの設定が「Auto」または「On」のときのみ)

Off: Bluetoothスタンバイを無効にします。



本製品は、先進的な省電力設計により
ネットワークスタンバイ時の消費電力
2W以下を実現しています。

必要なとき

ファームウェアを更新する

機能の追加や製品の改善に応じて、新しいファームウェアが提供されます。

モバイル機器にインストールしたMusicCast CONTROLLERを使って、ファームウェアを更新できます。

新しいファームウェアが提供されると、MusicCast CONTROLLERの画面に「新しいファームウェアがあります。今すぐ更新しますか？」というメッセージが表示されます。

1 「はい」をタップする。

ファームウェアの更新が始まります。

更新中は、MusicCast CONTROLLERの画面に進行状況を示すバーが表示され、本機のSOURCEインジケーターが水色に点滅します。

更新が成功すると、MusicCast CONTROLLERの画面に「ファームウェアの更新が完了しました。」と表示され、本機のSOURCEインジケーターが水色に点灯します。

お知らせ

- ◆ 「あとで」を選んだ場合は、MusicCast CONTROLLERの ☰ (設定) をタップし、「新しいファームウェアが利用可能です。」を選びます。画面の案内に従ってファームウェアを更新してください。
- ◆ 新しいファームウェアが提供されると、本機の電源をオンにしたときに SOURCEインジケーターもオレンジ色に点滅します。
- ◆ MusicCast CONTROLLERを使用しない場合は、本機の電源がスタンバイの状態で、PLAY/STOP(再生/停止)を押しながらSTANDBY/ON(電源)を押すとファームウェアの更新が始まります。
- ◆ ファームウェアに関する詳細は弊社ウェブサイトをご覧ください。

ご注意

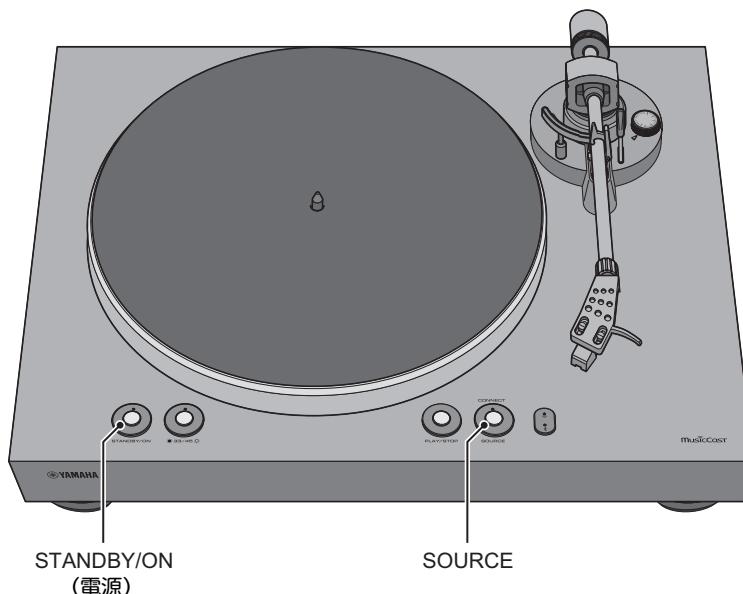
- ◆ ファームウェア更新中は、本機を操作したりACアダプターやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。

設定を初期化する

本機の設定を初期化できます。

- 1 STANDBY/ON(電源)を押して、本機の電源をスタンバイにする。
- 2 SOURCEを押しながら、STANDBY/ON(電源)を押して本機の電源をオンにする。

設定が初期化されます。



WAC機能を使用して無線ネットワークに接続する

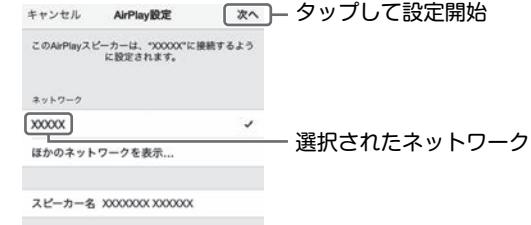
本機を購入または初期化した直後に電源をオンにすると (無線LAN) インジケーターが点滅します。(すでに有線でネットワーク接続している場合、音声出力切替スイッチの設定をPHONO OUTにしている場合を除く) 点滅している間に、iOSデバイスのネットワーク設定を共有して無線ネットワークに接続できます(WAC機能)。

この機能を使用する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 iOSデバイスのWi-Fi画面で、AirPlayスピーカーを本機に設定する。



- 2 選択されたネットワークを確認し「次へ」をタップする。



設定が完了すると、自動的に本機がネットワーク(アクセスポイント)に接続されます。

お手入れする

■ 本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は、表面を傷めてしまうおそれがありますので使用しないでください。

■ レコード針のお手入れ

レコード針の針先は非常に繊細にできています。破損させないよう丁寧に扱ってください。針先にほこりなどが付着した場合は、針の根元から先端に向かって柔らかい穂先のブラシなどで取り除くか、市販の専用クリーナーを使用してください。

■ レコードのお手入れ

レコードに汚れがつくと、音飛びやノイズの原因となります。市販のレコードクリーナーなどで汚れを拭き取ってください。

交換する

ベルトの交換

ベルトは、使用条件により劣化したり、切れたりすることがあります。その場合は、ベルトを交換してください。交換用のベルトについては、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」(ヤマハ修理ご相談センター)にお問い合わせください。

1 本機と接続機器の電源をオフにし、本機のACアダプターをコンセントから抜く。

2 ターンテーブルシートをターンテーブルから外す。

3 プーリーからベルトを外す。

4 ターンテーブルの丸穴に指をかけ、ターンテーブルを持ち上げる。



注意

- ◆ ターンテーブルを落とさないようにしてください。落とすと、けがをしたり、本機の損傷の原因になります。

5 ターンテーブルを裏返して、ベルトを取り外す。

6 交換用のベルトをターンテーブルに取り付ける。
ベルトがねじれないように注意してください。

7 ターンテーブルを本体に取り付ける。

取り付け方法については、「組み立てる」(⇒ 15ページ)をご参照ください。

レコード針の交換

レコード針の針先が摩耗、破損した場合はすみやかに交換してください。
交換針は、オーディオテクニカ製交換針「ATN3600L」をお求めください。

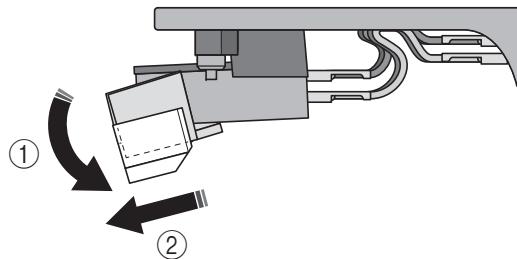


注意

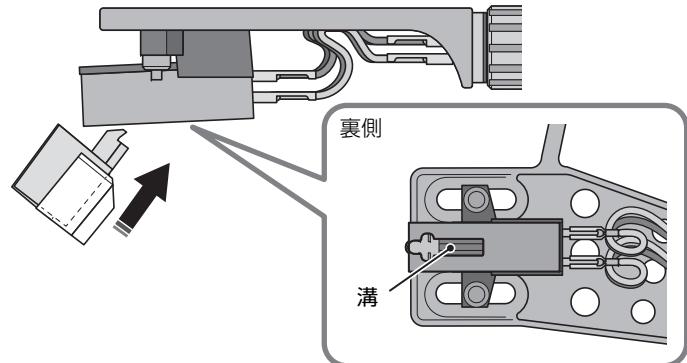
- ◆ 針先のカバーを取り付けてから交換してください。針先だけがをしたり、針先を損傷したりする恐れがあります。
- ◆ 外した針先を誤ってお子様が飲み込む恐れがありますのでご注意ください。

1 本機と接続機器の電源をオフにし、本機のACアダプターをコンセントから抜く。

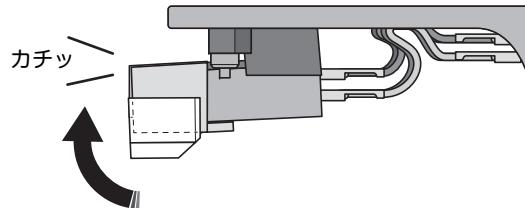
2 カートリッジ本体を指で押さえながら、針先を①の方向に押し下げ、②の方向に引いて外す。



3 カートリッジ本体を指で押さえながら、交換用の針先のツメをカートリッジ裏側の溝に差し込む。



4 カチッと音がするまで針先を押し上げる。



本機を移動する

本機を移動するときは、トーンアームが動かないようロックしてください。

故障かな?と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。

対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機の上面のSTANDBY/ON(電源)を押して電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策	参照ページ
STANDBY/ON(電源)を押しても電源がオンにならない。	ACアダプターが本機のDC IN端子や家庭用コンセントから外れている、または確実に差し込まれていない。	ACアダプターを本機のDC IN端子と家庭用コンセントに確実に差し込んでください。	18
STANDBY/ON(電源)を押すと、STANDBY/ON(電源)インジケーターが点滅して電源がオンにならない。	保護回路が3回続けて作動した。	製品保護のために電源が入らなくなります。ヤマハ修理ご相談センターに修理をご依頼ください。	—
SOURCEを押してもソースが切り替わらない。	音声出力切替スイッチの設定がPHONO OUTになっている。	音声出力切替スイッチの設定をLINE OUTにしてください。	14
ターンテーブルが回転しない。	ベルトがターンテーブルとブーリーに正しくかかっていない、またはベルトが外れている。 STANDBY/ON(電源)がオンになっていない。	ベルトをターンテーブルとブーリーに正しくかけてください。 STANDBY/ON(電源)をオンにしてください。	15 22
音が出ない。	ヘッドシェルがトーンアームに正しく取り付けられていない。	ヘッドシェルをトーンアームに正しく取り付けてください。	16
	ステレオピンケーブルが正しく接続されていない。	ステレオピンケーブルを正しく接続してください。	18
	アンプのミュート(消音)がオンになっている。	アンプのミュート(消音)をオフにしてください。	—
	本機の音声出力切替スイッチの設定が正しくない。	接続機器に合わせて音声出力切替スイッチを正しく設定してください。	18

症状	原因	対策	参照ページ
音量が小さい、または大きい。	アンプまたはフォノイコライザーのカートリッジ設定が正しくない。	アンプまたはフォノイコライザーのカートリッジ設定を使用するカートリッジの種類(MMまたはMC)に合わせてください。	—
	音声出力切替スイッチの設定が正しくない。	接続機器に合わせて音声出力切替スイッチを正しく設定してください。	18
音の左右のバランスが悪い。	本機が傾いている。	本機を水平な場所に設置してください。	—
演奏スピードが正しくない。	回転数が正しくない。	33/45(回転数切り替え)で回転数を正しく選択してください。また、本機はSPレコード(78回転)の再生には対応していません。	12
ハム音が出る。	ステレオピンケーブルが正しく接続されていない。	ステレオピンケーブルを正しく接続してください。	18
	ヘッドシェルがトーンアームにしっかりと固定されていない。	ヘッドシェルをロックナットでトーンアームにしっかりと固定してください。	16
音とびする。 ノイズが生じる。 音が歪む。	針圧が正しく調整されていない。	カウンターリングの目盛をカートリッジ指定の針圧に合わせてください。	20
	レコードに傷や反りがある。	傷や反りのあるレコードを使用しないでください。	—
	レコードが汚れている。	レコードの汚れを市販のクリーナーなどで拭き取ってください。	—
	レコードが静電気を帯びている。	静電気除去ブラシで静電気を除去してください。	—
	針先が汚れている。	針先の汚れを取ってください。	37
	針先が摩耗している。	針を交換してください。	38
ハウリングが生じる。	振動を受ける場所に本機を設置している。	外部振動を受けない、水平な場所に設置してください。	—
	本機がスピーカーに近すぎる。	本機とスピーカーを離して設置してください。	—
	再生音が大きすぎる。	アンプの音量を調整してください。	—

Bluetooth

症状	原因	対策	参照 ページ
本機とBluetooth機器が接続できない。	本機背面のWIRELESSスイッチがOFFになっている。	本機背面のWIRELESSスイッチをAUTOにしてください。	14
	本機の音声出力切替スイッチの設定がPHONO OUTになっている。	本機の音声出力切替スイッチの設定をLINE OUTにしてください。	14
	本機が別のBluetooth機器と接続されている。	現在のBluetooth接続を切断してから、目的のBluetooth機器と接続してください。	32
	本機とBluetooth機器の距離が離れすぎている。	Bluetooth機器を本機の近くに移動してください。	—
	2.4GHz周波数帯を使用する機器(電子レンジ、無線LANなど)からの干渉により、無線通信が妨害されている。	本機やBluetooth機器を、それらの機器から遠ざけてください。また、無線LANルーターが5GHz周波数帯に対応していれば、5GHz周波数帯の接続に切り替えてください。	—
	お使いのBluetooth機器がA2DPプロファイルに対応していない。	A2DPプロファイル対応のBluetooth機器をお使いください。	—
	Bluetooth機器に登録されている接続情報が何らかの原因で正しく機能していない。	Bluetooth機器の接続情報を削除してから、本機とBluetooth機器の接続操作を行ってください。	—
	Bluetoothアダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。	パスキーが「0000」の機器をお使いください。	—
	Bluetooth機器の音量が小さすぎる。	Bluetooth機器の音量を上げてください。	—
	Bluetooth機器の音声出力先が本機になっていない。	Bluetooth機器を操作し、音声出力先として本機を選択してください。	32
音が出ない、または音が途切れること。	Bluetooth接続が切断された。	再度Bluetooth接続を行ってください。	32
	本機とBluetooth機器の距離が離れすぎている。	Bluetooth機器を本機の近くに移動してください。	—
	2.4GHz周波数帯を使用する機器(電子レンジ、無線LANなど)からの干渉により、無線通信が妨害されている。	本機やBluetooth機器を、それらの機器から遠ざけてください。また、無線LANルーターが5GHz周波数帯に対応していれば、5GHz周波数帯の接続に切り替えてください。	—

ネットワーク

症状	原因	対策	参照 ページ
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報(IPアドレス)が正しく取得されていない。	ルーターのDHCPサーバー機能を有効にしてください。	—
	本機の音声出力切替スイッチの設定がPHONO OUTになっている。	本機の音声出力切替スイッチの設定をLINE OUTにしてください。	14
	本機背面のWIRELESSスイッチがOFFになっている。	本機背面のWIRELESSスイッチをAUTOにしてください。	14
	IPv6タイプのルーターと接続しようとしている。	本機はIPv6のネットワークには対応していません。IPv4のネットワークに接続してください。	—
無線LANルーター(アクセスポイント)経由でインターネットに接続できない。	無線LANルーター(アクセスポイント)の電源が切れている。	無線LANルーター(アクセスポイント)の電源をオンにしてください。	—
	本機と無線LANルーター(アクセスポイント)との距離が離れすぎている。	本機と無線LANルーター(アクセスポイント)を近づけて設置してください。	—
	本機と無線LANルーター(アクセスポイント)の間に障害物がある。	本機と無線LANルーター(アクセスポイント)の間の障害物を取り除いてください。	—
無線ネットワークを使用できない。	電磁波を発する機器(電子レンジ、無線機器など)がそばにある。	無線接続で本機を使用するときは、電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。	—
	無線LANルーター(アクセスポイント)のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	無線LANルーター(アクセスポイント)のファイアウォール設定をご確認ください。	—
パソコン(サーバー)を検出できない。	パソコン(サーバー)のメディア共有設定が誤っている。	本機がパソコン(サーバー)のフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください。	—
	パソコン(サーバー)やルーターのセキュリティー設定により、アクセス制限されている。	パソコン(サーバー)やルーターのセキュリティー設定をご確認ください。	—
	本機とパソコン(サーバー)が同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。	—

症状	原因	対策	参照ページ
パソコン(サーバー)のファイルを表示(再生)できない。	本機またはパソコン(サーバー)が非対応のファイルフォーマットを使用している。	本機およびパソコン(サーバー)が対応しているファイルフォーマットを使用してください。	44
インターネットラジオを再生できない。	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。 選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できいても音はできません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。	—
AirPlay使用時に、iOSデバイスから本機を検出できない。	マルチSSID対応ルーターを使用している。	ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。	—
モバイル機器の専用アプリケーションで本機が検出されない。	本機とモバイル機器が同じネットワークに接続されていない。 マルチSSID対応ルーターを使用している。	ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iOSデバイスを接続する際は、本機へのアクセスが可能なSSIDをお使いください(プライマリーSSIDへの接続をお試しください)。 ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。	—
ファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態が悪い。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。	35
無線LANルーター(アクセスポイント)と接続できない。	無線LANルーター(アクセスポイント)のMACアドレスフィルターが有効になっている。	MACアドレスフィルターが有効になっている場合は接続できません。無線LANルーター(アクセスポイント)の設定を変更して接続してください。	—

対応している機器とフォーマット

本機が対応している機器とファイルフォーマットは、下記をご確認ください。

対応機器

■ Bluetooth機器

- ◆ A2DPプロファイルに対応したBluetooth機器に対応しています。
- ◆ すべてのBluetooth機器に対する接続を保証するものではありません。

■ AirPlay

このネットワークターンテーブルはAirPlay 2に対応しています。
iOS 11.4以降が必要です。

ファイルフォーマット

■ パソコン（サーバー）

ファイル	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数 (bit)	ビットレート (kbps)	チャンネル数	ギャップレス再生対応
WAV *	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓
MP3	32/44.1/48	-	8~320	2	-
WMA	32/44.1/48	-	8~320	2	-
MPEG-4 AAC	32/44.1/48	-	8~320	2	-
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓
ALAC	32/44.1/48/ 88.2/96	16/24	-	2	✓
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓
DSD	2.8 MHz/ 5.6 MHz 11.2 MHz	1	-	2	-

* リニアPCMフォーマットのみ

- ◆ パソコン（サーバー）にインストールされているサーバーソフトにより、再生可能フォーマットが異なります。
詳しくはサーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ◆ DRM(デジタル著作管理)により保護されたファイルは再生できません。

商標



Works with Apple バッジを表記したアクセサリーは、バッジが表す技術に適合するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定されたアクセサリーであることを示します。

Apple、AirPlay、Apple TV、Apple Watch、iPad、iPad Air、iPad Pro、iPhone、Lightningは、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc.の商標です。

日本国内において、iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

App StoreSM

App Storeは Apple Inc.のサービスマークです。

Windows™

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Playerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android™ Google Play™

Android、Google Playは、Google LLCの商標または登録商標です。



Wi-Fi CERTIFIEDロゴおよびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。

Wi-Fi、Wi-Fi CERTIFIEDおよびWi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ヤマハ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



「ラジコ」、「radiko」およびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。



SpotifyおよびSpotifyロゴはSpotify Groupの登録商標です。 Spotifyのソフトウェアは、以下に記載のサードパーティソフトウェアを利用しています。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses



DeezerおよびDeezerロゴはフランスおよびその他の国に登録済みのDeezer S.A.の登録商標です。



ヤマハエコラベルは、優れた環境性能を備えた製品として、ヤマハグループが認定するマークです。



MusicCastは、ヤマハ株式会社の商標または登録商標です。

GPL/LGPLについて

本製品は、GPL/LGPLライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。
お客様はGPL/LGPLライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。

GPL/LGPLライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPLライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。
<https://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/>

ライセンス情報

本製品が使用するサードパーティソフトウェアについては、次で確認できます。

[http://\(本製品のIPアドレス*\)/licenses.html](http://(本製品のIPアドレス*)/licenses.html)

* 本製品のIPアドレスはMusicCast CONTROLLERで確認できます。

主な仕様

本機の主な仕様です。

ターンテーブル部

駆動方式	ベルトドライブ
モーター	DCモーター
回転数	33 1/3rpm、45rpm
回転数偏差	±2%
ワウ・フラッター	0.2%
ターンテーブル	アルミダイカスト 直径30cm

トーンアーム部

形式	スタティックバランスストレートアーム
実効アーム長	223.5mm
針圧可変範囲	0~4g
適用カートリッジ質量	15.5~19g (ヘッドシェル含む)
オーバーハング値	19mm

カートリッジ部

形式	MM型
出力電圧	2.5mV (1KHz、3.54cm/sec)
針圧	3.5±0.5g
カートリッジ質量	5.0±0.3g
カートリッジ高さ	17.0±0.7mm
ヘッドシェル質量	10g (ネジ、ナット、ワイヤー含む)

入出力端子

アナログ音声 (RCA Unbalanced)	
PHONO OUT ×1	
LINE OUT ×1	
NETWORK (有線) ×1 (100Base-TX/10Base-T)	

Bluetooth

受信動作

Bluetooth機器 (スマートフォン、タブレットなど) からの受信機能	
対応コーデック	SBC、AAC
コンテンツ保護	SCMS-T
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
Bluetoothバージョン	Ver. 4.2
ワイヤレス出力	Bluetooth Class 2
最大通信距離	10 m (障害物が無いこと)

ネットワーク

radiko.jp	
Spotify	
Deezer	
AirPlay対応	
インターネットラジオ	

無線ネットワーク

無線LAN規格.....	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac*
	* 20MHzチャンネル帯域幅のみ
無線周波数帯域.....	2.4 GHz、5 GHz
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	
PINコード式	
対応セキュリティ	
WEP	
WPA2-PSK (AES)	
Mixed Mode	

オーディオ部（ネットワーク、Bluetooth）

出力レベル (1kHz、0dB、Fs 44.1kHz).....	2.0±0.3 V
SN比 (IHF-Aネットワーク) (Infinity zero, Fs 44.1kHz)	110dB以上
ダイナミックレンジ (1kHz、-60dB、Fs 44.1kHz).....	100dB以上
歪率 (1kHz、0dB、Fs 44.1kHz).....	0.003%以下
周波数特性	
Fs 44.1kHz	2 Hz～20 kHz (+0/-3dB)
Fs 48 kHz	2 Hz～24 kHz (+0/-3dB)
Fs 96kHz	2 Hz～48 kHz (+0/-3dB)
Fs 192kHz.....	2 Hz～96 kHz (+0/-6dB)

オーディオ部（PHONO）

出力レベル	
PHONO OUT (1kHz、3.54cm/sec).....	2.5mV±3dBV
LINE OUT	450mV (-7dBV)
SN比 (A-weighted、20kHz LPF)	67dB以上

総合

ACアダプター電源	
入力.....	AC 100-240V 50/60Hz
出力.....	12V 1A
消費電力	6W
エコスタンバイ	0.3W
ネットワークスタンバイオン/Bluetoothスタンバイオフ	
有線.....	2.0W
無線 (Wi-Fi)	2.0W
ネットワークスタンバイオン/Bluetoothスタンバイオン	
有線.....	2.0W
無線 (Wi-Fi)	2.0W
質量	5.7kg
寸法 (幅×高さ×奥行き).....	450×136×368mm (脚部、突起部含む)

- ◆ 本書は、発行時点での最終仕様で説明しています。
最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

フリーダイヤル **0120-135-808**

携帯電話、IP電話からは **050-3852-4089**

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(祝日およびセンター指定の休日を除く)

ヤマハ サポート・お問い合わせ
<https://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハ楽器音響製品お客様サポート
LINE 公式アカウント



保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、または修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■修理ご相談センター

フリーダイヤル **0120-149-808**

携帯電話、IP電話からは **050-3852-4106**

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
JMT京浜 E棟 A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

永年ご使用の製品の点検を！



こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触るとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

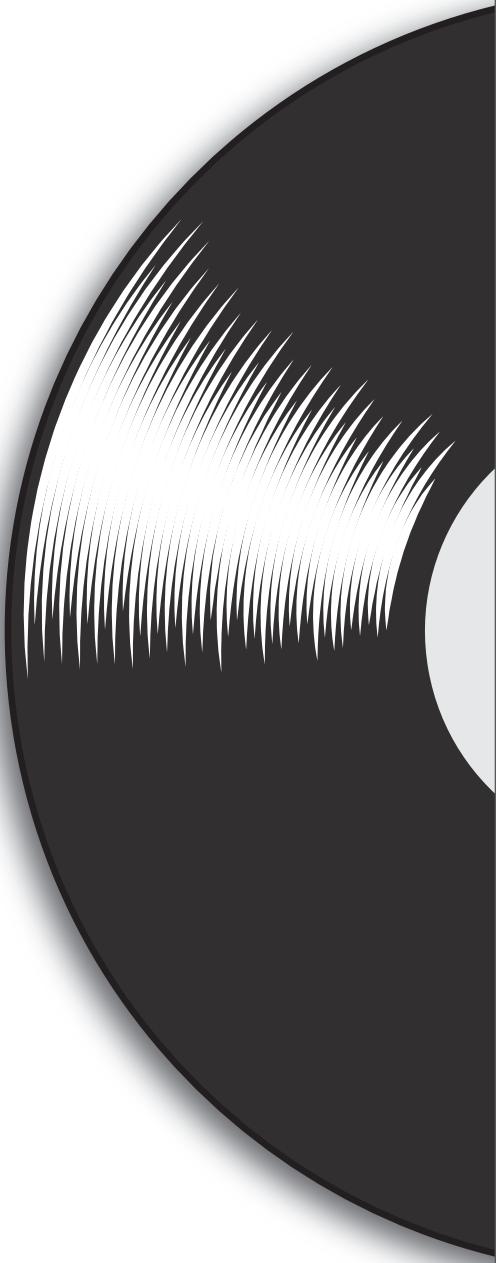
※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

耗材部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など



ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

© 2018 Yamaha Corporation

2025年5月 発行 YJ-W-E0

AV18-0090